

ORACLE

Oracle Cloud Applications のための分析戦略

ビジネスリーダーのための分析ガイド

目次

第1章
はじめに
3ページ

第2章
すぐに使える
5ページ

第3章
つながりのある継続的な
イノベーション
9ページ

第4章
プラットフォームのパワー
11ページ

第5章
両方のメリットを提供
14ページ

第6章
結論
15ページ

変革を成功させるには、緊密に連携した分析戦略が必要です。収益性の向上、従業員の多様化、サプライチェーンの最適化、カスタマー・エクスペリエンスの向上など、分析が成功のカギであり、スピードが重要です。

調査によると、分析リーダーたちは、データに投資して日々の意思決定にデータを活用し、次なる展開を予測することで競争力を高めています。彼らは、誰もがデータにアクセスしやすく、理解しやすく、効率的に利用できるようにすることに重点を置いています。

Fusion Analytics

は、迅速なインサイトを求めるOracle Cloud Applicationsのお客様にとって最適な選択肢です。Fusion Analyticsを活用することで、財務、人事、調達、営業、マーケティングの各チームが、業績に関する信頼できる単一のビューを中心に連携し、より多くのデータを意思決定に活用できるようになります。

第1章

はじめに

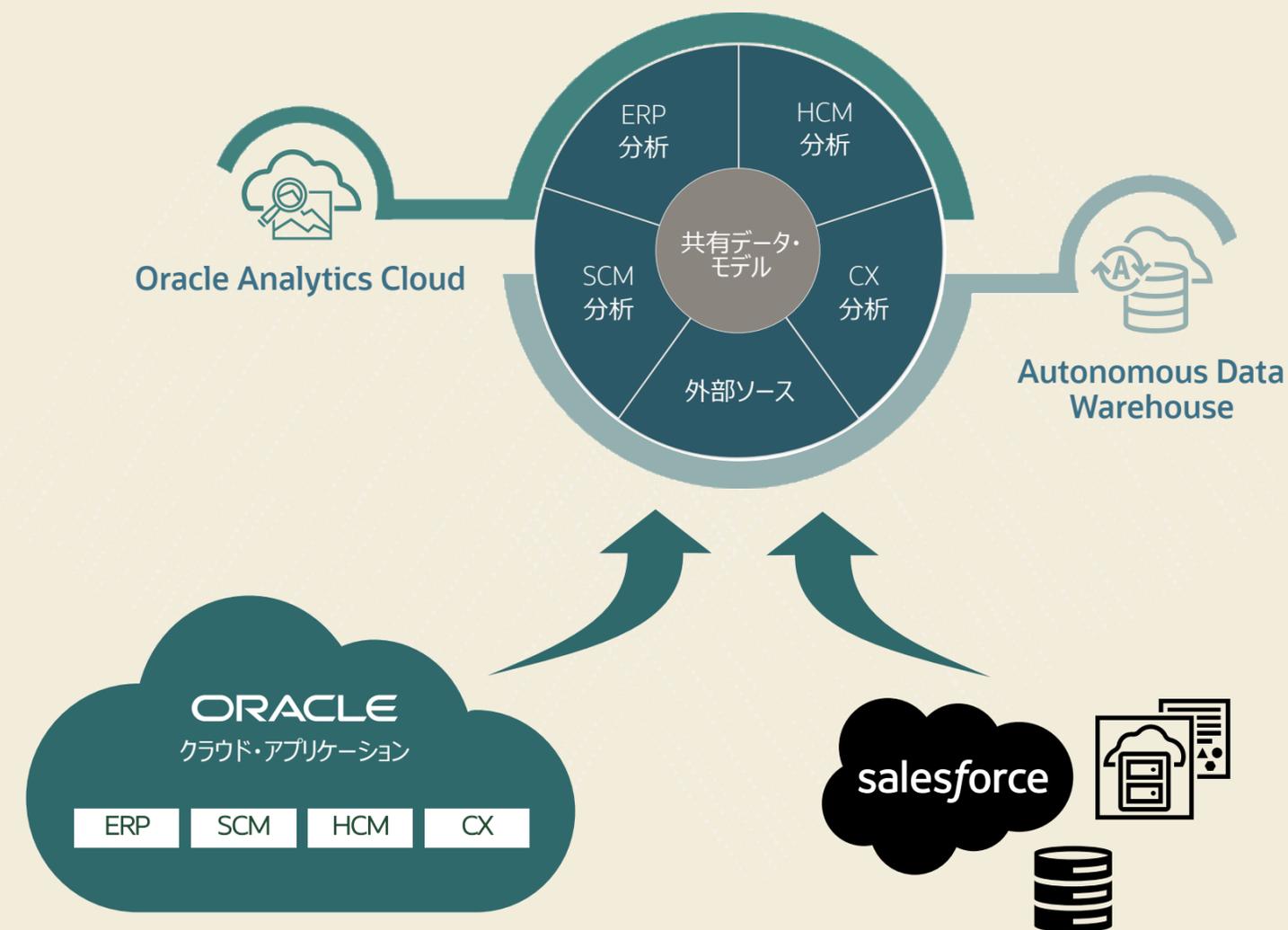
Fusion Analyticsは、すべてのOracle Fusion Cloud Applicationsに対してパーソナライズされたインサイトを提供するように設計された、SaaSアプリケーションです。

- ➡️ すぐに使えるメトリックとダッシュボードのライブラリにより、迅速なコラボレーションを実現
- ➡️ パイプラインとデータ・モデルがあらかじめ構築された、オラクルが管理するデータ・プラットフォーム
- ➡️ ERP、HCM、SCM、CXのための20のユースケースをすぐに利用可能
- ➡️ Oracle Cloud Applicationsと連携した継続的なイノベーション
- ➡️ Fusion以外のデータでアプリケーションを拡張するためのクラウド・プラットフォーム

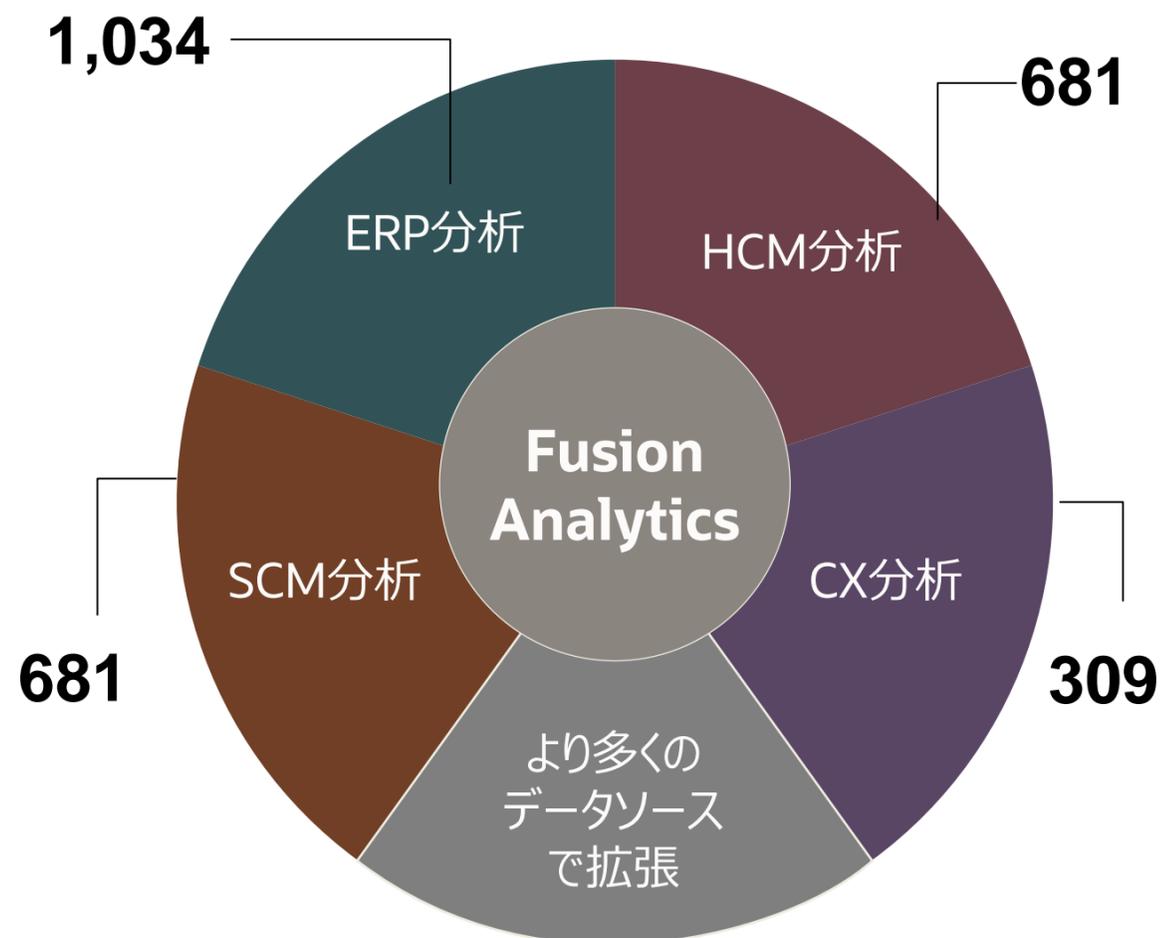
「すべてのOracle Cloud Applicationsのお客様は、Fusion Analyticsで分析を始めるべきだと我々は考えています。」

—オラクル、エグゼクティブ・バイスプレジデント、TK Anand

Oracle Fusion Analytics



事前構築済みメトリック



意思決定にデータが必要で、迅速な導入が必要な場合には、Fusion Analyticsが役に立ちます。2,300を超えるメトリックと70のコネクテッド・データ・モデルのライブラリを備えているため、明日からでもFusion Analyticsを起動できます。

迅速な
起動が可能

第2章

すぐに使える

すぐに使える24のユースケース

Fusion Analyticsは、**財務、HR、サプライチェーン、営業、およびマーケティング**の分野で使用できる24以上のユースケースを備えているため、迅速にスタートできます。

Fusion ERP Analytics	Fusion HCM Analytics	Fusion SCM Analytics	Fusion CX Analytics
<ul style="list-style-type: none"> • サプライヤー・リスクの管理 • 調達～支払プロセスの効率化 • プロジェクト・コストの監視 • 支払いパフォーマンスの向上 • 売掛金回収期間の改善 • トップ収益ドライバーの特定 	<ul style="list-style-type: none"> • チームの有効性の分析 • 計画外欠勤の検証 • 多様性インジケータの追跡 • 報酬プランの比較 • 社内異動のモニタリング • 従業員エンゲージメントの分析 	<ul style="list-style-type: none"> • 需要動向の把握 • 受注から入金までのボトルネックの発見 • コスト削減の機会の発見 • 調達の効率性の向上 • 在庫と需要の一致 • オーダー履行の評価 	<ul style="list-style-type: none"> • 利益率と収益性の分析 • 獲得コストと生涯価値の比較 • ロイヤルカスタマー／更新／解約 • 予測可能な収益 • ホワイトスペース分析 • 製品別割引

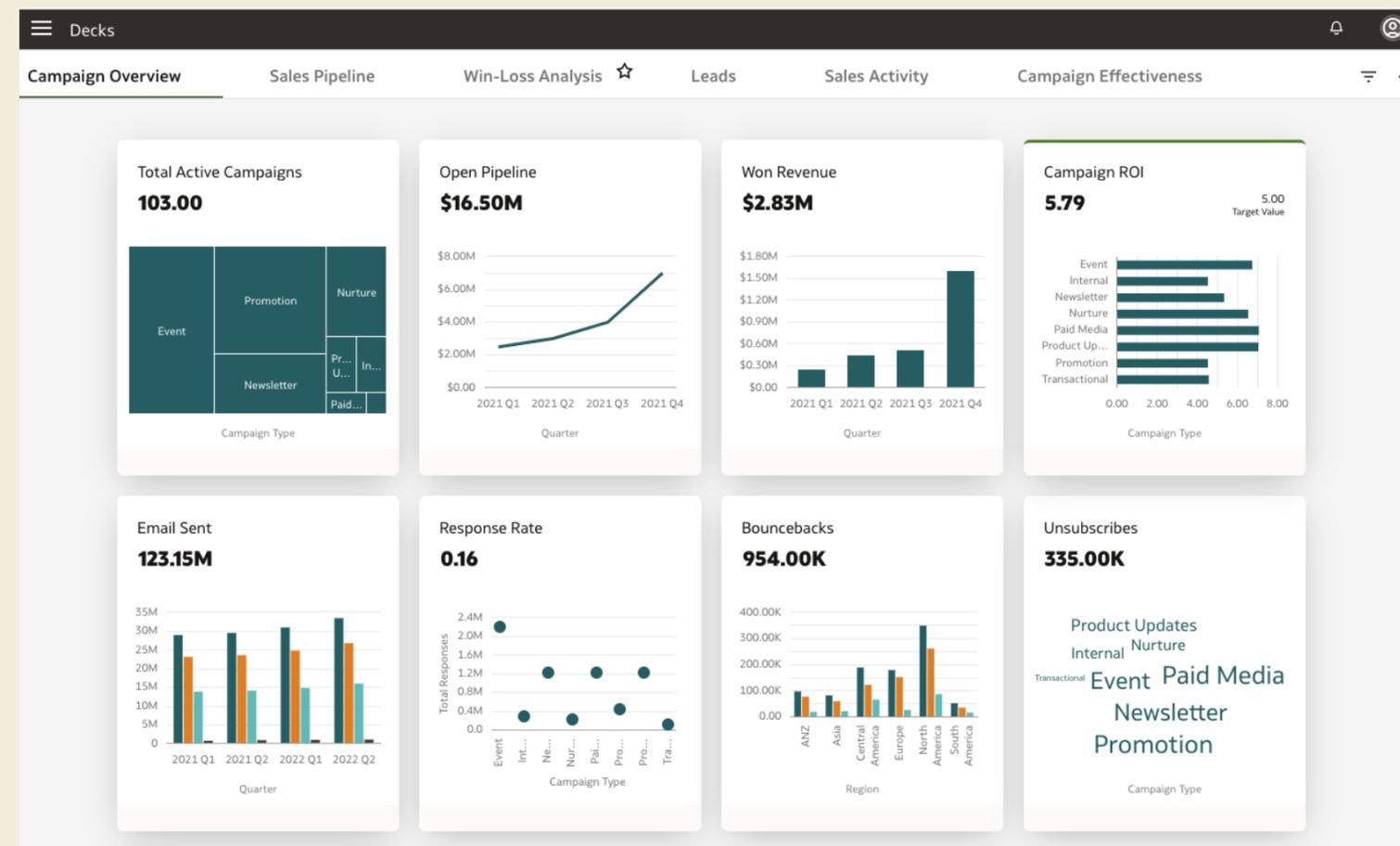
第2章

すぐに使える

お客様のために作成されたダッシュボード

Fusion Analyticsは、すべての主要なビジネス・プロセスにロールベースのダッシュボードを提供します。共通のデータ・モデルと、以下の主要プロセスにマッピングされた数十のサブジェクト領域により、部門横断的な分析の複雑さを軽減します。

- ➔ レコードからレポートまで
- ➔ 調達から支払いまで
- ➔ 計画から生産まで
- ➔ 採用から退職まで
- ➔ リードから収益まで



第2章

すぐに使える

すべてのメトリックを簡単に調査

こちらをクリックすると、ERP、HCM、SCM、CXのための2,300以上の構築済みメトリックが表示されます。これらのメトリックは、以下のように70以上の分析サブジェクト領域に分類されています。

ERP						CX				SCM			HCM			
Procurement - Spend	PPM - Project Revenue	PPM - Project Commitments	PPM - Project Budgets	Financials - GL Profitability	Financials - GL Detail Transactions	CX - Subscriptions	CX - Subscription Historical Trend	CX - Subscription Bill Line	CX - Service Request Milestone	SCM - Transfer Orders	SCM - Sales Orders Holds	SCM - Sales Orders	HCM - Workforce Rewards - Workforce Compensation	HCM - Workforce Rewards - Salary Basis	HCM - Workforce Gains and Losses	
Procurement - Requisitions	PPM - Project Invoices	Financials - GL Budgets	Financials - Assets Transactions	Financials - Assets Analysis	Financials - AR Transactions	CX - Service Request Lifecycle	CX - Service Request	CX - Opportunity Stage Progression	CX - Opportunity Snapshot	SCM - Picking and Shipping	SCM - Item Cost	SCM - Inventory Valuations	HCM - Workforce Core	HCM - Workforce Absence Management	HCM - Talent Review Meetings	
Procurement - Receipts	PPM - Project Funding	Financials - GL Balance Sheet	Financials - AR Revenue	Financials - AR Aging	Financials - AR Adjustme...	Financials - AP Payments	CX - Opportunity Revenue Line Snapshot	CX - Opportunity Quote	CX - Opportunity Activity	CX - Opportunity	SCM - Inventory Transactions	SCM - Inventory Receipts	SCM - Inventory Balances	HCM - Talent Profile	HCM - Talent Acquisition	HCM - Succession Management
Procurement - Purchase Orders	PPM - Project Forecasts	Financials - GL Account Analysis	Financials - AR Receipts and Applications	Financials - AP Liabilities	Financials - AP Holds	Financials - AP Expenses	CX - Opportunity Revenue Line	CX - Leads	CX - Campaign Opportunity Revenue Line	CX - Campaign Members	SCM - COGS and Gross Margin	Procurement - Requisitions	Procurement - Receipts	HCM - Profile Matching	HCM - Journeys	HCM - Goals and Career Develop...
Procurement - Agreements	PPM - Project Costs	Financials - EXM Employee Expenses	Financials - AR Credit Memo Applications	Financials - AP Invoices	Financials - AP Aging		CX - Opportunity Quote Line	CX - Lead Activity	CX - Campaign Activity Analysis	CX - Activity	Procurement - Spend	Procurement - Purchase Orders	Procurement - Agreements	HCM - Performance Management	HCM - Check-Ins	

コネクテッドかつ継続的

インサイトのコネクテッド・システム: アプリケーションと分析を同期させておくことは、オペレーション・インサイトに支障をきたさないために非常に重要です。Fusion AnalyticsはOracle Cloud Applicationsの新しいリリースごとに認証を行っています。そのため、新しいデータが追加されたりスキーマが変更されたりしても、データは常に最新の状態に保たれます。元となるデータが変更されたときにコードを書き換える必要はありません。さらに、Oracle Cloud Applicationsが、Fusion Analyticsとセキュリティ・フレームワークを共有するため、データの安全性が保たれます。

継続的なイノベーション: 変革への取り組みが進化するにつれ、分析ニーズも進化します。ユーザーは、より関連性の高いインサイト、新しいデータへの迅速なアクセス、新しいイノベーション、次を予測するための優れたモデルなどを求めるようになります。Fusion Analyticsは、新しいメトリックで継続的に更新され、データ・プラットフォームはOracle Cloud Applicationsにネイティブに接続されています。インサイトに対する需要の高まりに対応するため、四半期ごとにリリースされるFusion Analyticsには、何百もの新しいメトリック、新しいプラットフォーム機能（自然言語、モバイル、ビジュアライゼーションなど）、新しいコネクタ、既存のビジネス・コンテンツの改善が含まれています。

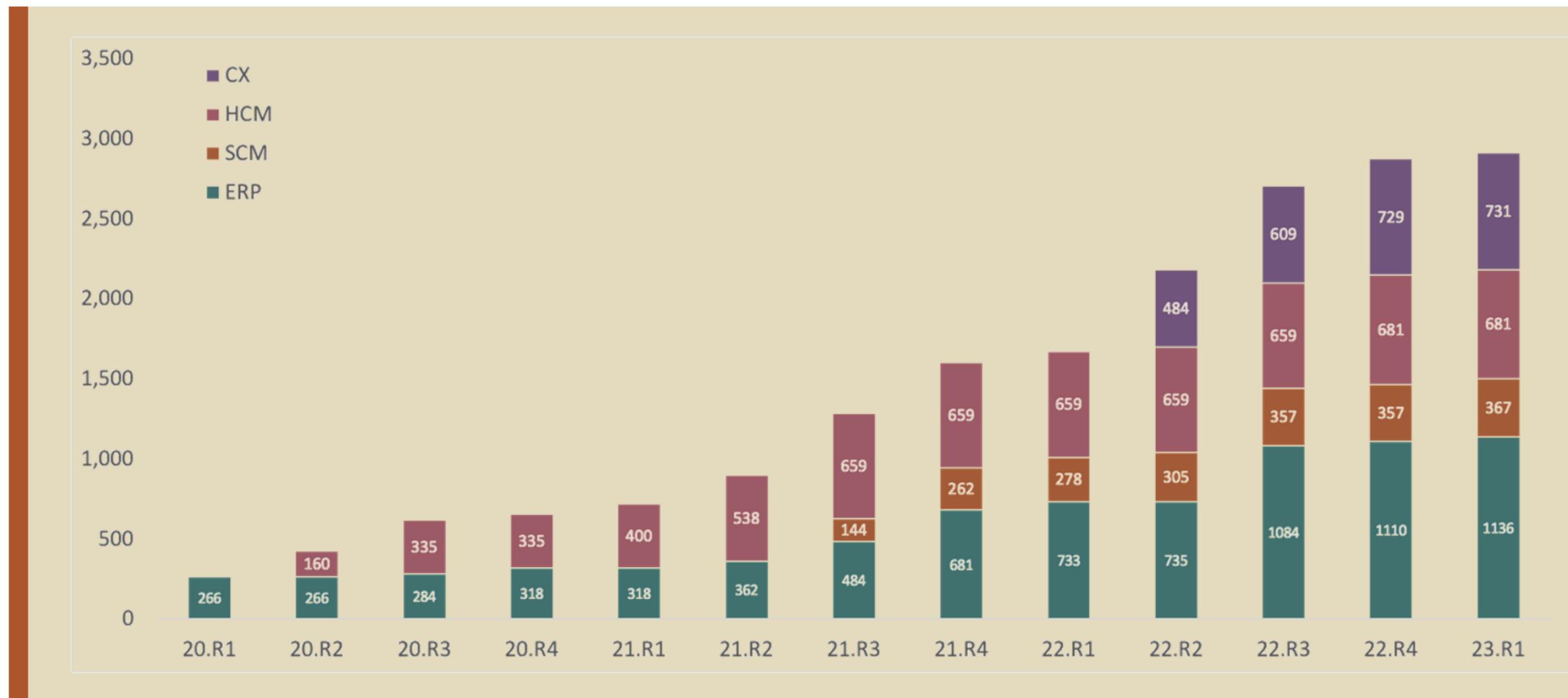
継続的なイノベーションにより、インサイトとアプリケーションを連携

第3章

コネクテッドかつ継続的

新しいメトリック、新しいユースケース

Fusion Analyticsの開始を始めたのは2020年でした。それ以来、13のリリースを発表し、メトリック・ライブラリを拡張して、新しいユースケースに対応してきました。



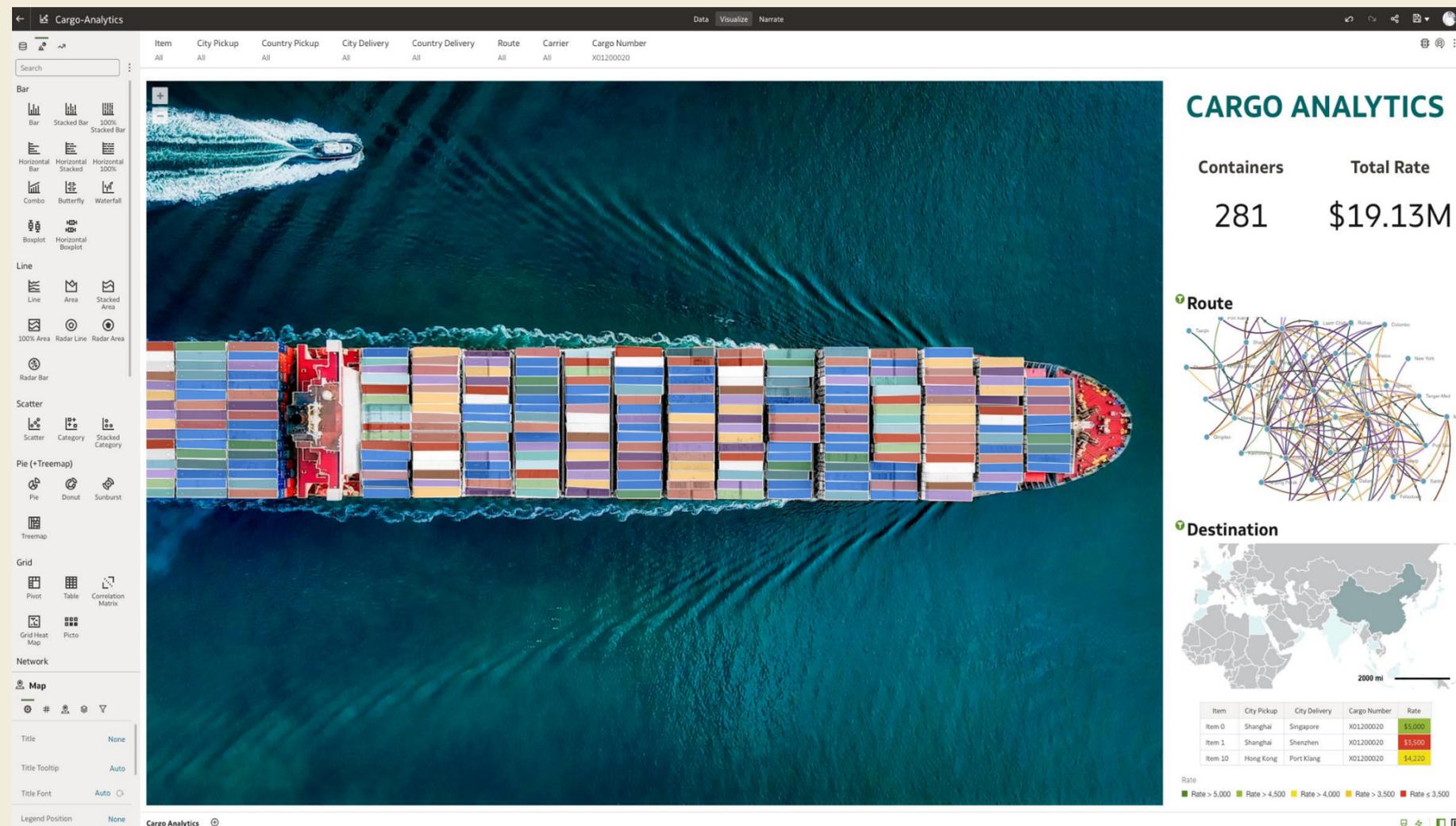
第4章

プラットフォームのパワー

あらゆる場所のあらゆるデータを活用可能な柔軟性

Fusion Analyticsを支えるプラットフォームは、SaaSサブスクリプションに含まれているOracle Analytics Cloudです。これは、クラウド・ネイティブの分析プラットフォームであり、あらゆる場所のあらゆるデータを活用して高度な分析アプリケーションを構築するために必要なすべての機能を提供します。

オラクルは、分析が万能テクノロジーではないことを認識しています。多くのお客様は、Oracle Cloud Applicationsとは無関係な、業界に特化したアプリケーションを構築する必要があります。そしてオラクルのお客様は、Oracle Analytics Cloudを使用して、革新的でユニークなアプリケーションを数多く構築されています。



第4章

プラットフォームのパワー

Oracle Analytics Cloudの高度な分析のユースケース

<p>農業</p> <ul style="list-style-type: none"> 精密農業 歩留分析 	<p>消費財</p> <ul style="list-style-type: none"> 販売促進の評価 	<p>通信/コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットワーク分析 ARPU分析 	<p>エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> 消費者からの要求 予知保全
<p>金融</p> <ul style="list-style-type: none"> 融資比率 顧客の生涯価値 	<p>政府</p> <ul style="list-style-type: none"> 公衆衛生 インフラストラクチャの老朽化分析 	<p>医療・福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療費請求の不正検知 病院の利用率と患者の流れ 	<p>高等教育機関</p> <ul style="list-style-type: none"> 入学者数の予測 生徒の成績向上
<p>製造業</p> <ul style="list-style-type: none"> 保証分析 顧客セグメンテーション 	<p>小売</p> <ul style="list-style-type: none"> リバーズ・サプライチェーン・ロジスティクス 日々の店舗レポート 	<p>輸送業</p> <ul style="list-style-type: none"> クルーのスケジューリング ルート収益性 	<p>石油・ガス</p> <ul style="list-style-type: none"> 予知保全 掘削の最適化

小売業者による持続可能な調達

Oracle Analyticsは、ファッション製品に使用されている持続可能な素材の割合を追跡したり、顧客のニーズに合わせて生産を調整するための需要予測に使用されています。

Yamamay (イタリア)

旅行・旅客運送業のロイヤルティ・マーケティング

Oracle Analyticsは、顧客の過去の行動に基づいてプロモーションや旅行の機会をターゲティングするなど、顧客の維持と拡大を推進するために使用されています。

Classic Travel (スリランカ)

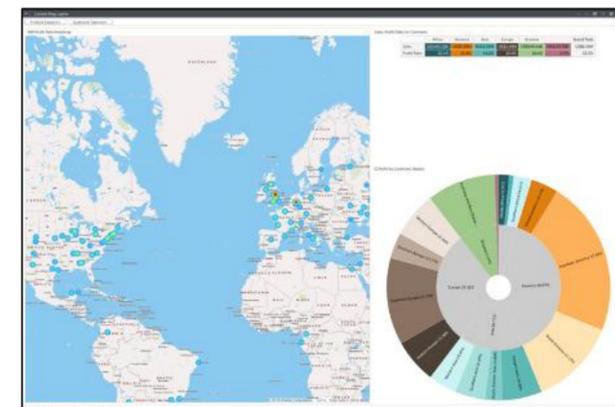
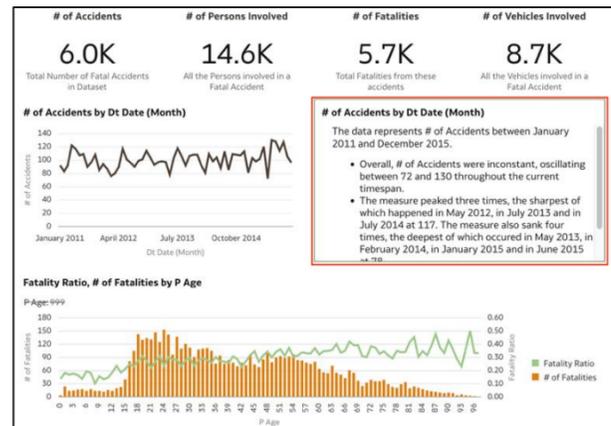
病院の待ち時間

Oracle Analyticsは、病院の待ち時間をモニタリングし、MLモデルを適用して遅延の理由を特定したり、X線検査でAIを実行してリスクの高い患者を優先させたりするために使用されています。

Hapvida Saude (ブラジル)

第4章 プラットフォームのパワー

Oracle Analytics Cloudは、部分的な代替製品とは異なり、すべての分析プロセスを単一のクラウド・サービスに結び付けます。



より説得力のあるストーリーを語るための**データ可視化**



隠れたパターンを発見するためのコード不要の予測モデルを構築する**組み込みの機械学習**



35以上のすぐに使えるネイティブ・コネクタを使用した**オープンデータソース接続**



セルフサービスのデータフローを使用して、データの取り込み、修復、拡張、結合を行う**データ準備とデータ強化**



一貫性のある定義を定め、すべてのデータを保護する、**企業向けセマンティック・モデリング・ツール**



関連するインサイトを自動配信し、常に接続を維持できる、**モバイル・エクスペリエンス**



オンプレミスでもクラウドでも、**柔軟な導入**が可能

第5章

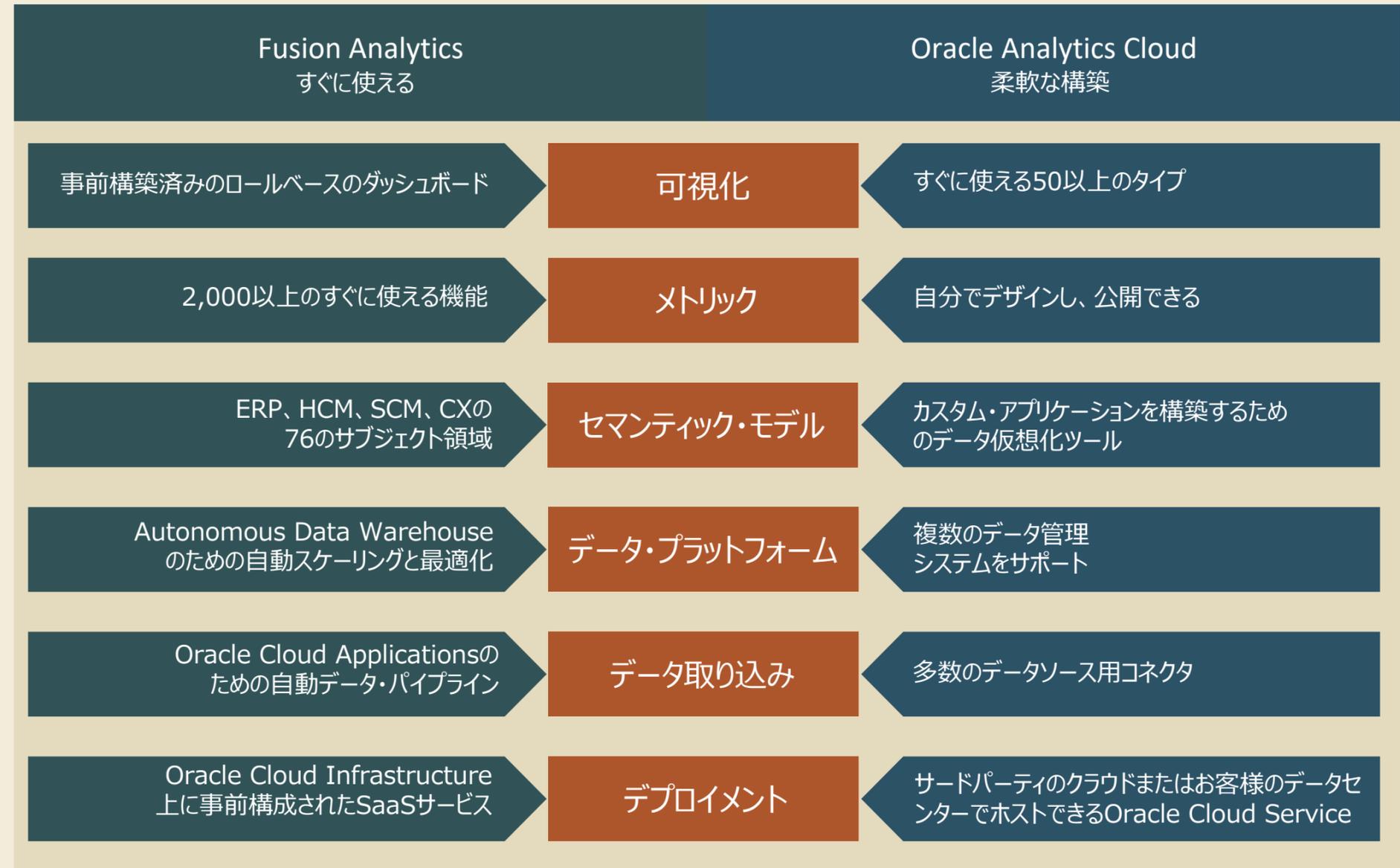
両方のメリットを提供

複数の異なるメリットを享受するために、妥協は必要はありません。Oracleを活用すると、ビジネス担当者はFusion Analyticsのイノベーションが提供するスピードとすぐに使えるSaaSアプリケーションのメリットを享受でき、開発者はOracle Analytics Cloudのパワーを活用して分析アプリケーションを構築できます。

ビジネス担当者と開発者の両方が成功するためには、6つの重要な機能が重要です。そしてOracleは、両者にとって最適なソリューションを提供しています。その6つの機能とは、以下になります。

- **可視化** – Fusion AnalyticsとOracle Analytics Cloudはどちらも、ビジネス担当者がデータから得られたインサイトを効果的に伝えられるようにする革新的な方法を提供します。
- **メトリック** – Fusion Analyticsには事前構築されたメトリックが用意されており、Oracle Analytics Cloudには独自のメトリックを設計するための機能が用意されています。
- **セマンティック・モデル** – どちらも、Fusion Analyticsにあらかじめ組み込まれているサブジェクト領域を使用したり、独自のサブジェクト領域を構築することができます。
- **データ・プラットフォーム** – Fusion AnalyticsはOracle Autonomous Data Warehouse向けに最適化されています。一方、Oracle Analytics Cloudは、非Oracleのデータ管理システムにも柔軟に対応します。
- **データ取り込み** – Oracleは、Oracle Cloud ApplicationsとOracle Analytics Cloudのためのすべてのデータ・パイプラインを自動化するとともに、多数のデータ・ソースとサードパーティ・アプリケーションのためのコネクタを提供します。
- **デプロイメント** – Fusion AnalyticsはOracle Cloud Infrastructure上に事前構成されているのに対し、Oracle Analytics CloudはオンプレミスやOracle Cloud Infrastructureに導入できるほか、サードパーティのクラウドでもホストできます。

ビジネス担当者と開発者の両方に対応



第6章
結論

Fusion Analyticsは、設定済みですぐに使用できるため、分析を始めるのに最適な環境です。カスタムソリューションは開発コストが高く、保守、改善、Oracle Cloud Applicationsとの接続が複雑です。以下に、事前構築済みのSaaSアプリケーションを購入する方が自社で構築するよりも良い9つの理由をご紹介します。

<p>Fusion Analytics を選ぶ理由</p> <p>1</p> <p>すぐに使えるベストプラクティスを備えているため、メトリックを定義、開発、強化する必要がない</p> <p>その理由は、</p> <p>すぐに使える2,300以上のKPI、メトリック、ダッシュボード、レポート</p>	<p>2</p> <p>新しいクラウド・アプリケーションがリリースされても、オラクルがお客様に代わりテストや再テストを行うため、分析を継続できる</p> <p>Oracle Cloud Applicationsとの継続的な接続を維持できるクラウドネイティブなデータ・プラットフォーム</p>	<p>3</p> <p>お客様に代わり、データの接続、データ・モデルのメンテナンス、パフォーマンスのチューニングをオラクルが担当</p> <p>ハイパフォーマンスで事前構築済みのデータ・モデル</p>	<p>4</p> <p>カスタムスキーマやカスタムETLの設計、構築、保守が不要</p> <p>使いやすい設定ツールによる迅速な実装</p>	<p>5</p> <p>オラクル以外のデータでも拡張可能で、データを複製する必要がない</p> <p>Salesforce、SAPなどの外部データを統合するための、データ拡張ツールと高度な分析クラウド・プラットフォーム</p>
<p>Fusion Analytics を選ぶ理由</p> <p>6</p> <p>Oracle Cloud Applicationsのユーザーおよびジョブ・ロールを継承するため、セキュリティ・プロファイルを個別に管理する必要がない</p> <p>その理由は、</p> <p>Oracle Cloud Applicationsと同期したロールベースのセキュリティ</p>	<p>7</p> <p>部門横断的な分析にありがちなデータの重複と複製を排除し、パフォーマンスに関する単一のビューを提供</p> <p>70以上の部門のサブジェクト領域をつなぐ単一の共有データ・モデル</p>	<p>8</p> <p>コードを書いたり保守したりする必要がない。オラクルがエンドツーエンドのデータプロセスを自動化し、管理するため、お客様はその手間から解放される</p> <p>Oracle Cloud Applications向けに事前構築されたETLと自動化されたデータ・パイプライン</p>	<p>9</p> <p>マニュアル操作の必要がない。Fusion Analyticsは、Oracle Cloudアプリケーションのデータ量の増加に合わせて自動拡張可能</p> <p>拡張性に優れたSaaSの分析アプリケーション</p>	

Oracleとつながる



Oracle Analytics Leadersプログラムに**参加**すると、ピアから学んだり、ベストプラクティスや自社の成功をシェアしたり、Oracle製品の開発に寄与したりすることができます。



Cloud Customer Connectに**参加**すると、エキスパートに会ったり、製品のアイデアを共有したり、質問をしたり、コミュニティと関わったりすることができます。



分析に関するOracle ACEブログを**読んで**、製品について詳しく学びましょう。



Analytics and Data Oracle User Communityなどのユーザー・グループに**参加**しましょう。



LinkedInでOracle Analyticsを**フォロー**しましょう。



著者について



Rich Clayton

Oracle Analytics製品戦略担当
バイスプレジデント

Oracle Analyticsの製品戦略担当バイスプレジデント、Rich Claytonは、オラクルの分析製品のグローバル導入を担当しています。データに情熱を持っており、分析で成功する方法についてお客様にガイダンスを提供しています。また彼は、分析、機械学習、人工知能の将来について、世界中の分析フォーラムで講演を行っています。

テクノロジー業界に入る前は、さまざまなコーポレート・ファイナンスの職務を経験し、シカゴのMcGladeryで公認会計士を務めました。彼は、オレゴン大学で分析について教鞭をとり、カリフォルニア州立工科大学の分析プログラムの理事長を務めています。また、アイオワ州初のBusiness Analytics MBAプログラムの開発を主導しました。彼は、Loras Collegeで会計学の学士号を取得後、シカゴ大学のExecutive Leadershipプログラムに参加しました。

共著者

Emily Cikovsky, Duncan Fitter, Joey Fitts, Gabby Rubin, Stefan Schmitz,
Madeleine Groeger-Wilson



ORACLE CORPORATION

Worldwide Headquarters

2300 Oracle Way, Austin, TX 78741 USA

+1 800.ORACLE1にお電話いただくか、**oracle.com** にアクセスしてください。

北米以外の地域の方は、

oracle.com/contact で最寄りのオフィスを検索できます。

Copyright © 2023, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved. このドキュメントは情報提供のみを目的としており、記載内容は予告なしに変更される場合があります。このドキュメントに誤りがないことの保証はいたしかねます。また、口頭で明示されたか法律で黙示されたかを問わず、商品性もしくは特定の目的に対する適合性についての黙示的な保証を含め、いかなる保証や条件も提供するものでもありません。オラクルは、このドキュメントに関するいかなる法的責任も負わないものとし、直接的、間接的を問わず、本ドキュメントにより、いかなる契約上の義務も生じないものとし、このドキュメントは、オラクルによる事前の書面による承諾を得ることなく、目的の如何を問わず、電子的手段または印刷によるものも含めていかなる形式や手段によっても複製または送信できないものとし、